

開催報告

東京電機大学生生活協同組合 新入生歓迎会

楽しく大学生生活を送るために 大学生として知っておきたいこと

日時：2014年3月24日（月）9：30～17：10
会場：東京電機大学 東京千住キャンパス
参加対象：平成26年度入学の新入生
参加実績：午前の部 未来科学部 145人、工学部二部 26人
 午後の部 工学部 224人
 大学生協学生委員 17人
 合計 412人

主催：東京電機大学生生活協同組合
企画提案：東京都生活協同組合連合会
 生活サポート生活協同組合・東京

目的・概要

- 東京電機大学生生活協同組合の学生委員企画で新入生歓迎会を開催。新入生に友達づくりの場と先輩の声を聞く場を提供し入学前に不安解消を行なうこと、大学生になる前に知っておきたい注意点等の講習を行い、自立した学生生活に向け自覚をもってもらうことを目的に企画作りを行なった。
- 学部、学科ごとにグループを作りオリエンテーションや講習を行ない、必要な情報を新入生に学んでもらう形で企画を実施した。

プログラム

開会式（委員長あいさつ）
アイスプレイング（25分）
オリエンテーション（40分）
講座・大学生活のリスク（35分）
生協共済・PC・GL 説明（15分）
学内ツアー & フリートーク
閉会式



「新入生歓迎会」は入学前の不安を少しでも解消してあげたいという大学生協の学生委員が企画・運営。「大学生活のしおり」等案内冊子の作成や企画立案、当日の運営も学生委員が全て行なった。今回のように「新入生歓迎会」企画の中に『消費者課題』の講座を取り入れた組み立ては初めて。「学生にとってよいことをやりたい」「入学前に大学生活を危うくするかもしれない‘リスク’についても知っておいてほしい」という思いのもと、大学生協ならではの構成企画となった。

企画内容については生活サポート生協・東京の提案に対して学生委員から積極的な意見があり、電大生が実際に体験した事例や被害に遭いやすい事例などを講座の内容に取り入れた。

講座

『楽しく学生生活を送るために大学生として知っておきたいこと ～大学生活のリスク～』

講師：富永 智恵美（生活サポート生活協同組合・東京 相談員）

■大学生になって注意したほうがよいこと

大学生が被害に遭いやすい悪質商法として「1.架空請求（インターネットトラブル）」、「2.ワンクリック請求（インターネットトラブル）」、「3.デート商法（アポイントメントセールス）」を挙げ、東京都消費生活総合センター作成のDVD「若者たちを狙う悪質商法」より、デート商法の事例紹介と被害に遭わないための注意点を紹介した。またその他の「架空請求」や「ワンクリック詐欺」は実際に若者からの相談が多いケースの話をし、学生委員の被害に遭いそうになった体験についての発言もあった。



■ クレジットカード

大学生になると持つことができるようになるクレジットカード。便利さの裏側にあるリスクや注意点について話をした。

身近な例として、スマホ料金を滞納することによりブラックリストにのってしまい、スマホもクレジットカードも5年間契約できなくなる危険性があることや、カードを利用したら毎月の明細はチェックすることが大切ということなどを伝えた。

■ アルバイト

ブラックバイトが増えている現状や学生アルバイトも労働者で法律の適用対象であることを伝え、おかしいと思えば相談することが大切。

■ 思いがけないリスク・・・共済の話

学生の自転車事故などが増えているため、被害者・加害者どちらにもなる可能性があるの
で万が一への備えも必要。

■ 新入生勧誘にみせかけた罠

サークル、ボランティア活動に見せかけカルト

宗教団体が知識のない新入生を狙うことがある。電大生は他大学よりも勧誘された比率が高いため、学生委員の経験談も交え勧誘に遭った際のリスクについて話した。

*最後に相談窓口一覧を紹介。一人で悩まず、まずは相談することを改めて伝えた。



学生委員の
体験談

アンケートより

完成されたドラマに魅せられて「断る勇氣」をもらいました（環境化学）。生協、共済すごく知りたかったので助かった（情報通信工）。責任が自分にあることの重みを知った（機械工学コース）。いざとなったら相談したりしようと思った（先端機会コース）。大学生活のリスクを知ることができたり、丁寧に説明してくれたのでよかった（電気電子システム）。聞きやすかったが眠くなった（光情報コース）。不安だったことが色々分かりました（ロボット・メカトロニクス）。ビデオ面白かった（建築）。どのような悪質商法があるのか知れたため（情報メディア）。不安が軽くなった（工学部第2部）